

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせませす。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

今週の紙面

- 本号は新婦人第32回全国大会特集で、4ページ増の12ページ建てです。
- 10面 読者のページ/ まんが/短歌 ■11面 「ふつう」を問い直す/ 母の歴史/文化情報/旬レシピ



札幌市 高際洋子

新日本婦人の会第32回全国大会 11月2・3日

平和・暮らし・ジェンダー...

力を合わせて動かそう

新婦人大きく!



▲「新婦人に出会ってよかった。一人よりみんなで」三重・四日市支部



▲楽しい班会で、会員が2倍以上に岩手・盛岡支部野いちご班

11月2、3日、新日本婦人の会第32回全国大会が東京都内で開かれました。6年ぶりに一堂に会してのリアル開催に喜びがはじけ、学び合い、感動いっぱい全国大会になりました。(1〜4面、9・12面/5〜8面大会決定)



▲給食の運動で入会も 佐賀県本部



▲被災地に班結成—感動をよんだ石川県本部の発言

涙、笑い、共感
全国大会は、高市自民・維新連立政権の発足という激動の情勢のもとで開催。進む軍拡への不安が広がる今だからこそ、仲間を増やそうとの決意がどの発言からもあふれていました。

3人の来賓あいさつ(3面)に続く議案討論では、57人が発言し、涙、笑い、共感の連続です。大会中も県や支部とつながって、「黙っていたら平和があぶない」「こんな時こそ新婦人を大きく

特効薬は新婦人

く」と、入会が相次ぎ、大会めざす1カ月で5100人を超える新しい会員を迎えました。

発言は冒頭から、高市政権の危険性とそれに立ち向かう新婦人の活動が鮮明に。大阪は、議員定数削減は、維新の使い古されたキャッチコピー、「身を切る改革」と言い

ながら政治の問題の本質をすり替え、分断を持ち込む常套手段だと告発しました。日米一体の軍事訓練、長射程ミサイル弾薬庫建設など、全国で進む戦争準備にどこでも声をあげ、行動する新婦人の姿が。

戦後・被爆80年の今年、何としても核兵器の廃絶を、二度と戦争はしたくない、そのために、新婦人を大きくと、原爆展に班・支部でとりくみ、学校訪問や校門前アンケートなどで「核兵器は絶対ダメ」とのゆるぎない世論を地域から広げています。

沖縄県本部は「高市政権につける特効薬は新婦人」と発言し、会場を沸かせました。

珠洲に班誕生

能登半島地震や豪雨で大きな被害にあった石川県珠洲市での班誕生の発言は、大きな感動をよびました。

金沢市在住の近松美喜子さんは、往復7時間かけ、生まれ育った珠洲に支援物資を届けてきました。「ここに新婦人の班を」と、友人や知人、珠洲原発反対運動の中心にいた人や仮設住宅の人にも声をかけ、10月5日で班を結成しました。

〈2面へ〉



共感の拍手で会場がひとつに



▲2大会連続会員目標達成 沖縄県本部

入会はこちら

